



# シアトル市のテクノロジー利用 状況に関する調査報告書（2024 年度）：調査結果の概要

「すべてのシアトル市民がインクルージョン（共生社会）を実感し、学びによる成功を成し遂げ、経済的な繁栄を享受できるように、公平性のあるデジタル化を追求する必要があります。」

– Mayor Bruce Harrell

## この調査の目的



このたびシアトル市では、住民によるテクノロジーやインターネットの利用状況を把握するために調査を実施しました。調査対象となったのは4,600人以上で、調査項目は以下の通りです。

- インターネット利用の有無
- 使用している端末の種類
- テクノロジー利用に関する意識（習熟度）
- インターネット利用を阻む要因

## インターネットの利用状況



- シアトル市では98%の世帯が自宅でインターネットを利用可能（2018年の95%から上昇）。
- しかし、以下の住民には、オンライン利用について多くの課題が見られます。

- 低所得者
- 英語を母国語としない人々
- 障がいを持つ人々
- 黒人およびネイティブ・アメリカンの住民
- 高齢者

## インターネット費用が利用に及ぼす影響



- ほとんどの世帯はインターネット費用として月に少なくとも100ドルを負担しています。
- 低所得世帯は収入の約5%をインターネット費用に費やしており、平均所得世帯は2.2%を費やしています。
- 一定の条件を満たす世帯向けにインターネットサービスの費用を節約するための公的プログラムが提供されていますが、多くの人はそのプログラムの存在を知らないか、あるいはまったく利用していません。

## シアトル市で主に使用されている端末の種類



- ほぼ全世帯（95%）がスマートフォンを所有
- 86%がノートパソコンを所有
- 67%がタブレットを所有
- 一部の世帯では、家族間で端末を共有しなければならず、仕事や勉強、公的サービスの利用が困難となっている

## 人々はより高度なデジタルスキルを求め、必要としている



- シアトル住民の約60%は基本的なデジタル作業をすべて問題なくこなせる。
- 多くの住民がさらに知りたいと思っているのは以下の点です。
  - オンラインでの個人情報の保護
  - 基本的なコンピュータスキル
  - ソフトウェアとアプリケーションの操作
  - オンラインでの仕事探し

# 取り残されている層

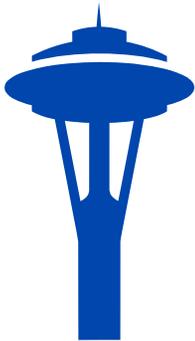
本調査により、テクノロジーを利用する上で、以下のグループがより多くの困難に直面していることが明らかとなりました。



- 高齢者
- 障がいを持つ人々
- 英語を母国語としない人々
- 低所得者
- 黒人およびネイティブ・アメリカンの住民

## シアトル市の対応策

当市では、以下の取り組みを推進しています。



1. 調査結果を広く共有し、デジタルアクセス・プログラムへの支援を拡大する
2. 住民にインターネット割引プログラムについて知ってもらい、申請手続きの手助けをする
3. 必要な端末が入手できるように手助けをする
4. 地域団体と連携し、トレーニングやサポートを提供する
5. 技術支援サービスを見つけやすくする
6. 官民提携を強化し、市全域のデジタル化をさらに推進する

## なぜこれが重要なのでしょうか？



信頼性の高いインターネットへのアクセスと、テクノロジー活用法に関する知識は、以下の活動分野でますます重要となっています。

- 仕事
- 学校
- 医療
- 公的サービス
- 家族や地域社会とのつながり維持
- 情報とリソースの検索

シアトル市は、デジタル化が進む現代社会において、すべての住民が必要なツールとスキルを身につけられるように取り組んでいます。本調査に参加して下さった多くの地域住民の皆様に、深く感謝申し上げます。